

平成24年度 奨学金の延滞者に関する属性調査結果

独立行政法人 日本学生支援機構

I 調査目的等

1. 目的

奨学金の延滞者の属性を把握し、今後の奨学金回収方針に役立てることとする。

2. 調査対象

(1) 平成24年10月末において、奨学金返還を3ヶ月以上延滞している者(以下「延滞者」という。)

(2) 平成24年10月末において、奨学金返還を延滞していない者(以下「無延滞者」という。)

3. 調査方法

延滞者 : 延滞年数および性別で層化し、無作為抽出

無延滞者 : 学種および性別で層化し、無作為抽出

4. 調査時期

平成24年12月

5. 調査数

	抽出件数	回答件数	回答率	参考母数(平成24年度末)
延滞者	19,301 件	3,873 件	20.1 %	194,153 件
無延滞者	9,669 件	2,477 件	25.6 %	2,894,871 件

II 調査結果

1. 回答者および奨学金申請に関すること

(1) 回答者	表1-1
(2) 回答者と保証制度との関係	表1-2
(3) 奨学金申請時の書類作成者	表1-3
(4) 奨学金の申請を勧められたか	表1-4
(5) だれに奨学金の申請を勧められたか	表1-5
(6) 返還義務をいつ知ったか	表1-6

2. 主な返還者について

(1) 主な返還者	表2-1
(2) 奨学生本人以外の主な返還者	表2-2
(3) 返還するための原資	表2-3
(4) 主な返還者と回答者との関係	表2-4-1 ~ 2-4-2
(5) 主な返還者と学種との関係	表2-5-1 ~ 2-5-2

3. 本人の職業について

(1) 本人の職業	表3-1-1
本人の職業と性別との関係	表3-1-2
本人の職業と年齢との関係	表3-1-3 ~ 3-1-4
(2) 本人の職業と学種との関係	表3-2-1 ~ 3-2-2

4. 本人の年収について

(1) 本人の年収	表4-1-1
本人の年収と性別との関係	表4-1-2
本人の年収と職業との関係	表4-1-3 ~ 4-1-4
本人の年収と年齢との関係	表4-1-5 ~ 4-1-6
(2) 本人の年収と学種との関係	表4-2

5. 延滞の理由と今後の返還の見通しについて(延滞者のみ回答)	
(1) 延滞が始まった理由(きっかけ)	表5-1-1 ~ 5-1-2
(2) 延滞が継続している理由	表5-2-1 ~ 5-2-3
(3) 延滞が始まった理由(きっかけ)と継続している理由との関係	表5-3
(4) 延滞が継続している理由と主な返還者との関係	表5-4
(5) 延滞が継続している理由と年収との関係	表5-5
(6) 延滞が継続している理由と職業との関係	表5-6
(7) 今後の返還の見通し	表5-7-1 ~ 5-7-5
6. 返還期限の猶予制度について	
(1) 猶予制度の認知状況	表6-1
(2) 猶予制度の認知状況と年齢との関係	表6-2-1 ~ 6-2-2
(3) 猶予制度の認知状況と年収との関係	表6-3-1 ~ 6-3-2
(4) 猶予制度の申請状況	表6-4
(5) 猶予申請しない理由(過去に申請あり)	表6-5
(6) 猶予申請しない理由(一度も利用なし)	表6-6
(7) 猶予制度をどこから知ったか	表6-7
(8) 猶予制度の猶予期間の長さについて	表6-8
7. リレー口座(口座振替による返還)による返還状況	
(1) リレー口座加入の有無	表7-1
(2) リレー口座の名義人	表7-2
(3) 口座名義人(奨学生本人以外)の保証制度との関係	表7-3
(4) リレー口座のその他の使途	表7-4
(5) リレー口座への入金状況	表7-5
8. 無延滞者のこれまでの返還状況(無延滞者のみ回答)	
(1) 延滞経験の有無	表8-1
(2) 延滞になったことを知ったきっかけ	表8-2
(3) 延滞の解消方法	表8-3
(4) 延滞をより早く解消できたと思われる返還方法	表8-4
9. 日本学生支援機構の奨学金制度の認知状況	
(1) 猶予制度の認知状況	表9-1
(2) 減額返還制度の認知状況	表9-2
(3) 繰上返還制度の認知状況	表9-3
(4) 個人信用情報機関への登録の認知状況	表9-4
10. 各種情報提供の利用等状況	
(1) スカラネット・パーソナルの認知状況	表10-1
(2) 日本学生支援機構送付文書類の閲覧状況	表10-2
(3) 日本学生支援機構のホームページ閲覧状況	表10-3
11. 日本学生支援機構の奨学金に対する意識	
(1) 日本学生支援機構に対する意識	表11-1 ~ 11-5

(注意)

1. 各表は無回答・不明を除いた比率で集計している。
2. 原則、上位2位までの割合について網掛けをしている。
3. 四捨五入をした数を使用しているため、内訳の数の合計が合計欄の数と一致しない場合がある。
4. 複数回答可の設問に関する表の各回答の割合は合計しても100%にならない。
※各回答の割合は回答者数に対する割合である。

(参考)平成24年度末現在の状況

① 返還を要する者の債権(期日到来分のみ。)	3,229 千件
② 返還している者	2,895 千人
③ 1日以上の延滞債権	334 千件
④ 3ヶ月以上の延滞債権	194 千件

○基礎情報

1. 奨学生本人の性別 (単位:人・%)

性別	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
男性	2,146	55.4	1,205	48.7
女性	1,725	44.6	1,270	51.3
計	3,871	100.0	2,475	100.0
無回答	2		2	

4. 奨学金の種類 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
第一種	2,148	55.5	1,047	42.3
第二種	1,339	34.6	1,012	40.9
両方	386	10.0	418	16.9
計	3,873	100.0	2,477	100.0
無回答	0		0	

2. 奨学生本人の年齢 (単位:人・%)

年齢(歳)	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
～24	277	7.2	573	23.2
25～29	1,241	32.1	1,008	40.7
30～34	968	25.0	560	22.6
35～39	594	15.3	246	9.9
40～44	459	11.9	50	2.0
45～49	220	5.7	20	0.8
50～	112	2.9	17	0.7
計	3,871	100.0	2,474	100.0
無回答	2		3	

5. 最終貸与学種 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
高等学校	1,014	26.2	60	2.4
高等専門学校	19	0.5	13	0.5
短期大学	299	7.7	179	7.2
大学	1,755	45.3	1,434	57.9
大学院	189	4.9	467	18.9
専修学校(専門課程)	575	14.9	322	13.0
専修学校(高等課程)	20	0.5	0	0.0
計	3,871	100.0	2,475	100.0
無回答	2		2	

3. 奨学生本人の居住地域 (単位:人・%)

地域	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
北海道	214	5.5	112	4.5
東北	379	9.8	169	6.8
関東(東京除く)	555	14.3	459	18.5
東京	367	9.5	276	11.2
甲信越(山梨、長野、新潟)	79	2.0	103	4.2
東海(静岡、愛知、三重、岐阜)	234	6.0	256	10.3
北陸	52	1.3	51	2.1
近畿	664	17.2	441	17.8
中国	252	6.5	181	7.3
四国	121	3.1	93	3.8
九州・沖縄	954	24.6	334	13.5
海外	0	0.0	0	0.0
計	3,871	100.0	2,475	100.0
無回答	2		2	

1. 回答者および奨学金申請に関すること

(1) 回答者について(択一)

○ 回答者で「奨学生本人」は延滞者64.1%、無延滞者76.5%であり、無延滞者の方が本人が回答している割合が高い。

表1-1 回答者 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	2,462	64.1	1,893	76.5
父母	1,273	33.2	565	22.8
兄弟	13	0.3	4	0.2
祖父母	4	0.1	1	0.0
おじ・おば	2	0.1	0	0.0
配偶者	81	2.1	13	0.5
その他	3	0.1	0	0.0
計	3,838	100.0	2,476	100.0
無回答	35		1	

(2) 回答者と保証制度との関係について(択一)

○ (1)の回答者において「奨学生本人」以外と回答した者へ保証制度との関係を質問したところ、「連帯保証人」と回答した割合が一番高かったが、延滞状況による大きな差は見られなかった。

表1-2 回答者と保証制度との関係 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
① 連帯保証人	617	45.8	277	47.6
② 保証人	425	31.6	163	28.0
③ 機関保証の「本人以外の連絡先」	88	6.5	47	8.1
④ ①～③の二つ以上にあてはまる	78	5.8	48	8.2
⑤ ①～④にあてはまらない	76	5.6	23	4.0
⑥ わからない	62	4.6	24	4.1
計	1,346	100.0	582	100.0
無回答	30		1	

(注)(1)回答者において「奨学生本人」以外と回答した者への質問。

(3) 奨学金申請時の書類作成者(択一)

○ 延滞者では「親(または祖父母等の家族)」と回答した者が37.9%で一番割合が高いが、無延滞者では「奨学生本人」が57.9%で一番割合が高くなっている。

表1-3 奨学金申請時の書類作成者 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	1,437	37.5	1,431	57.9
親(または祖父母等の家族)	1,453	37.9	474	19.2
本人と親等	708	18.5	532	21.5
わからない	229	6.0	33	1.3
その他	7	0.2	3	0.1
計	3,834	100.0	2,473	100.0
無回答	39		4	

(4)奨学金の申請を勧められたか(択一)

○延滞者および無延滞者ともに「勧められた」と回答した割合が一番高い。また、延滞者は「わからない」と回答した割合が次に高くなっているが、無延滞者では「勧められなかった」と回答した割合が次に高くなっている。

表1-4 奨学金の申請を勧められたか (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
勧められた	2,263	59.3	1,396	56.4
勧められなかった	676	17.7	822	33.2
わからない	874	22.9	255	10.3
計	3,813	100.0	2,473	100.0
無回答	60		4	

(5)だれに奨学金の申請を勧められたか(択一)

○延滞者では「学校の先生や職員」と回答した者が46.4%が一番割合が高いが、無延滞者では「親(または祖父母等の家族、親戚)」が75.5%が一番割合が高くなっている。

表1-5 だれに奨学金の申請を勧められたか (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
親(または祖父母等の家族、親戚)	980	43.6	1,053	75.5
学校の先生や職員	1,045	46.4	260	18.7
友人・知人	199	8.8	73	5.2
その他	26	1.2	8	0.6
計	2,250	100.0	1,394	100.0
無回答	13		2	

(注) (4)「奨学金の申請を勧められたか」において「勧められた」と回答した者への質問。

(6)返還義務をいつ知ったか(択一)

○延滞者および無延滞者ともに「貸与手続きを行う前」と回答した割合が一番高いものの、延滞者は無延滞者に比べ低い数値になっている。

表1-6 返還義務をいつ知ったか (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
貸与手続きを行う前	2,073	54.7	2,240	90.6
貸与手続中	477	12.6	123	5.0
貸与中	219	5.8	48	1.9
貸与終了時	150	4.0	13	0.5
貸与終了後～返還開始前	174	4.6	20	0.8
返還開始～督促前	132	3.5	6	0.2
延滞督促を受けてから	308	8.1	4	0.2
わからない	224	5.9	17	0.7
その他	35	0.9	2	0.1
計	3,792	100.0	2,473	100.0
無回答	81		4	

2. 主な返還者について

(1) 主な返還者(回答者数:延滞者3,779人、無延滞者2,435人)(択一)

- 主な返還者は、延滞者の場合で「本人」64.5%、「父母」31.9%、無延滞者の場合で「本人」84.8%、「父母」13.1%である。延滞者、無延滞者ともに本人が主な返還者である割合が最も高いが、延滞者は無延滞者に比べて20.3%低くなっている。

表2-1 主な返還者 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	2,437	64.5	2,066	84.8
父母	1,204	31.9	318	13.1
兄弟	9	0.2	0	0.0
祖父母	7	0.2	1	0.0
おじ・おば	0	0.0	0	0.0
配偶者	86	2.3	38	1.6
その他	36	1.0	12	0.5
計	3,779	100.0	2,435	100.0
無回答	94		42	

(参考)23年度 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	2,749	68.0	866	80.6
連帯保証人	646	16.0	96	8.9
保証人	187	4.6	28	2.6
連帯保証人・保証人以外の父母	323	8.0	31	2.9
配偶者	69	1.7	34	3.2
その他	66	1.6	19	1.8
計	4,040	100.0	1,074	100.0

(2) 奨学生本人以外の場合の主な返還者(「主な返還者」を「奨学生本人」以外と回答した者に質問) (回答者数:延滞者1,282人、無延滞者351人)(択一)

表2-2 奨学生本人以外の場合の主な返還者 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
① 連帯保証人	566	44.1	153	43.6
② 保証人	388	30.3	96	27.4
③ 機関保証の「本人以外の連絡先」	63	4.9	14	4.0
④ ①～③の二つ以上	88	6.9	25	7.1
⑤ ①～④にあてはまらない	74	5.8	36	10.3
⑥ わからない	103	8.0	27	7.7
計	1,282	100.0	351	100.0
無回答	60		18	

(3) 奨学金を返還するための原資

(回答者数:延滞者3,788人、無延滞者2,460人)(択一)

表2-3 返還するための原資 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
給与など働いて得る収入	3,161	83.4	2,304	93.7
年金など	432	11.4	47	1.9
預貯金	79	2.1	82	3.3
その他	116	3.1	27	1.1
計	3,788	100.0	2,460	100.0
無回答	85		17	

(4) 主な返還者と回答者との関係

- 延滞者の場合、回答者(このアンケート調査に回答した者)が主な返還者であることが多いのに対し、無延滞者の場合、延滞者と比べると回答者にかかわらず本人が主な返還者であることが多い。

表2-4-1 主な返還者と回答者(延滞者)

(単位:人・%)

回答者 \ 主な返還者	奨学生本人		父母		兄弟		祖父母		おじ・おば		配偶者		その他		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	2,127	87.7	242	19.5	6	46.2	1	25.0	1	50.0	54	66.7	1	33.3	2,432	64.5
父母	212	8.7	981	79.0	2	15.4	0	0.0	0	0.0	3	3.7	2	66.7	1,200	31.8
兄弟	1	0.0	3	0.2	5	38.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	9	0.2
祖父母	1	0.0	2	0.2	0	0.0	3	75.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	7	0.2
おじ・おば	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
配偶者	63	2.6	1	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	22	27.2	0	0.0	86	2.3
その他	22	0.9	12	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	2.5	0	0.0	36	1.0
計	2,426	100.0	1,241	100.0	13	100.0	4	100.0	2	100.0	81	100.0	3	100.0	3,770	100.0

表2-4-2 主な返還者と回答者(無延滞者)

(単位:人・%)

回答者 \ 主な返還者	奨学生本人		父母		兄弟		祖父母		おじ・おば		配偶者		その他		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	1,723	92.5	326	59.0	3	75.0	1	100.0	0	-	12	92.3	0	-	2,065	84.8
父母	93	5.0	224	40.5	1	25.0	0	0.0	0	-	0	0.0	0	-	318	13.1
兄弟	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	-	0	0.0	0	-	0	0.0
祖父母	0	0.0	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	-	0	0.0	0	-	1	0.0
おじ・おば	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	-	0	0.0	0	-	0	0.0
配偶者	37	2.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	-	1	7.7	0	-	38	1.6
その他	10	0.5	2	0.4	0	0.0	0	0.0	0	-	0	0.0	0	-	12	0.5
計	1,863	100.0	553	100.0	4	100.0	1	100.0	0	-	13	100.0	0	-	2,434	100.0

(5) 主な返還者と学種との関係

- いずれの学種においても、延滞者は無延滞者と比べ、主な返還者が本人以外の割合が高くなっている。また、高校は他の学種と比べ、本人以外が返還する割合が高く、大学院は、本人が返還している割合が高い。

表2-5-1 主な返還者と学種(延滞者)

(単位:人・%)

学種 \ 主な返還者	高等学校		高等専門学校		短期大学		大学		大学院		専修学校(専門課程)		専修学校(高等課程)		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	517	52.3	10	58.8	182	62.1	1,195	69.5	152	81.7	368	66.5	11	55.0	2,435	64.5
父母	428	43.3	6	35.3	98	33.4	472	27.5	27	14.5	165	29.8	8	40.0	1,204	31.9
兄弟	2	0.2	1	5.9	1	0.3	4	0.2	0	0.0	1	0.2	0	0.0	9	0.2
祖父母	2	0.2	0	0.0	0	0.0	3	0.2	1	0.5	1	0.2	0	0.0	7	0.2
おじ・おば	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
配偶者	28	2.8	0	0.0	9	3.1	34	2.0	3	1.6	11	2.0	1	5.0	86	2.3
その他	12	1.2	0	0.0	3	1.0	11	0.6	3	1.6	7	1.3	0	0.0	36	1.0
計	989	100.0	17	100.0	293	100.0	1,719	100.0	186	100.0	553	100.0	20	100.0	3,777	100.0

表2-5-2 主な返還者と学種(無延滞者)

(単位:人・%)

学種 \ 主な返還者	高等学校		高等専門学校		短期大学		大学		大学院		専修学校(専門課程)		専修学校(高等課程)		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	42	70.0	10	76.9	156	88.1	1,170	83.3	420	91.5	266	83.4	0	-	2,064	84.8
父母	17	28.3	2	15.4	18	10.2	199	14.2	33	7.2	49	15.4	0	-	318	13.1
兄弟	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	-	0	0.0
祖父母	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.2	0	0.0	0	-	1	0.0
おじ・おば	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	-	0	0.0
配偶者	0	0.0	0	0.0	3	1.7	26	1.9	5	1.1	4	1.3	0	-	38	1.6
その他	1	1.7	1	7.7	0	0.0	10	0.7	0	0.0	0	0.0	0	-	12	0.5
計	60	100.0	13	100.0	177	100.0	1,405	100.0	459	100.0	319	100.0	0	-	2,433	100.0

3. 本人の職業について

(1) 本人の職業(回答者数:延滞者3,770人、無延滞者2,472人)(択一)

○延滞者の場合、「常勤社(職)員」が最も多く35.6%、次いで「無職・失業中／休職中」18.2%、「非常勤社(職)員」15.1%となっている。無延滞者の場合、「常勤社(職)員」が64.5%と最も多く、次いで「非常勤社(職)員」の8.4%となっている。

○延滞者は、無延滞者と比較して「常勤社(職)員」となっている者の割合が低く、「無職・失業中／休職中」や「非常勤社(職)員」、「派遣社員」の割合が高くなっている。

表3-1-1 本人の職業

(単位:人・%)

区分	24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員	1,342	35.6	1,594	64.5	1,410	34.5	639	57.5
任期付常勤社(職)員	247	6.6	166	6.7	256	6.3	61	5.5
非常勤社(職)員	568	15.1	207	8.4	542	13.3	85	7.7
派遣社員	253	6.7	52	2.1	306	7.5	33	3.0
自営/家業	229	6.1	70	2.8	211	5.2	24	2.2
学生(留学を含む)	35	0.9	100	4.0	48	1.2	90	8.1
専業主婦(夫)	269	7.1	127	5.1	328	8.0	82	7.4
無職・失業中/休職中	686	18.2	136	5.5	774	18.9	71	6.4
その他	141	3.7	20	0.8	212	5.2	26	2.3
計	3,770	100.0	2,472	100.0	4,087	100.0	1,111	100.0
無回答	103		5					

(注)

任期付常勤社(職)員:「常勤社(職)員(雇用期限がある)」の略。以下同様

非常勤社(職)員 :「非常勤社(職)員(週あたりの勤務時間が短く、雇用期限がある)」の略。以下同様

表3-1-2 本人の職業(男女別)

(単位:人・%)

区分	延滞者						無延滞者					
	男		女		計		男		女		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員	959	46.0	382	22.7	1,341	35.6	893	74.3	699	55.1	1,592	64.5
任期付常勤社(職)員	132	6.3	115	6.8	247	6.6	77	6.4	89	7.0	166	6.7
非常勤社(職)員	247	11.9	321	19.1	568	15.1	62	5.2	145	11.4	207	8.4
派遣社員	131	6.3	122	7.2	253	6.7	17	1.4	35	2.8	52	2.1
自営/家業	165	7.9	64	3.8	229	6.1	34	2.8	36	2.8	70	2.8
学生(留学を含む)	19	0.9	16	1.0	35	0.9	55	4.6	45	3.5	100	4.0
専業主婦(夫)	3	0.1	266	15.8	269	7.1	3	0.2	124	9.8	127	5.1
無職・失業中/休職中	361	17.3	324	19.2	685	18.2	56	4.7	80	6.3	136	5.5
その他	67	3.2	74	4.4	141	3.7	5	0.4	15	1.2	20	0.8
計	2,084	100.0	1,684	100.0	3,768	100.0	1,202	100.0	1,268	100.0	2,470	100.0

表3-1-3 本人の職業と年齢(延滞者)

(単位:人・%)

職業	年齢		~24		25~29		30~34		35~39		40~44		45~49		50~		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員	65	24.1	440	36.3	367	39.0	215	36.9	152	34.7	70	32.7	32	29.1	1,341	35.6		
任期付常勤社(職)員	12	4.4	96	7.9	69	7.3	33	5.7	16	3.7	14	6.5	7	6.4	247	6.6		
非常勤社(職)員	48	17.8	181	14.9	131	13.9	80	13.7	63	14.4	32	15.0	33	30.0	568	15.1		
派遣社員	25	9.3	82	6.8	61	6.5	40	6.9	35	8.0	5	2.3	5	4.5	253	6.7		
自営/家業	3	1.1	35	2.9	48	5.1	45	7.7	52	11.9	29	13.6	17	15.5	229	6.1		
学生(留学を含む)	10	3.7	15	1.2	8	0.9	1	0.2	1	0.2	0	0.0	0	0.0	35	0.9		
専業主婦(夫)	15	5.6	107	8.8	65	6.9	49	8.4	18	4.1	14	6.5	1	0.9	269	7.1		
無職・失業中/休職中	70	25.9	212	17.5	158	16.8	104	17.9	86	19.6	43	20.1	12	10.9	685	18.2		
その他	22	8.1	45	3.7	34	3.6	15	2.6	15	3.4	7	3.3	3	2.7	141	3.7		
計	270	100.0	1,213	100.0	941	100.0	582	100.0	438	100.0	214	100.0	110	100.0	3,768	100.0		

表3-1-4 本人の職業と年齢(無延滞者)

(単位:人・%)

職業	年齢		~24		25~29		30~34		35~39		40~44		45~49		50~		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員	352	61.9	690	68.5	349	62.3	153	62.2	30	60.0	10	50.0	7	41.2	1,591	64.4		
任期付常勤社(職)員	39	6.9	61	6.1	43	7.7	18	7.3	4	8.0	0	0.0	1	5.9	166	6.7		
非常勤社(職)員	54	9.5	77	7.6	47	8.4	18	7.3	4	8.0	3	15.0	4	23.5	207	8.4		
派遣社員	13	2.3	27	2.7	9	1.6	3	1.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	52	2.1		
自営/家業	7	1.2	18	1.8	20	3.6	17	6.9	4	8.0	2	10.0	2	11.8	70	2.8		
学生(留学を含む)	64	11.2	24	2.4	8	1.4	2	0.8	1	2.0	0	0.0	1	5.9	100	4.1		
専業主婦(夫)	5	0.9	46	4.6	45	8.0	28	11.4	1	2.0	2	10.0	0	0.0	127	5.1		
無職・失業中/休職中	31	5.4	57	5.7	33	5.9	7	2.8	4	8.0	2	10.0	2	11.8	136	5.5		
その他	4	0.7	7	0.7	6	1.1	0	0.0	2	4.0	1	5.0	0	0.0	20	0.8		
計	569	100.0	1,007	100.0	560	100.0	246	100.0	50	100.0	20	100.0	17	100.0	2,469	100.0		

(2) 本人の職業と学種との関係

- 延滞者は、高等学校、短期大学、大学院及び専修学校(高等課程)において、「任期付常勤社(職)員」と「非常勤社(職)員」と「派遣社員」の合計が、「常勤社(職)員」の割合より高くなっている。
- 無延滞者は、いずれの学種においても「常勤社(職)員」が最も多い。

表3-2-1 本人の職業と学種(延滞者)

(単位:人・%)

職業	高等学校		高等専門学校		短期大学		大学		大学院		専修学校 (専門課程)		専修学校 (高等課程)		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員	271	27.9	9	52.9	71	24.3	740	42.9	56	30.3	189	33.6	5	26.3	1,341	35.6
任期付常勤社(職)員	57	5.9	0	0.0	27	9.2	112	6.5	10	5.4	40	7.1	1	5.3	247	6.6
非常勤社(職)員	166	17.1	1	5.9	53	18.2	218	12.7	40	21.6	84	14.9	6	31.6	568	15.1
派遣社員	60	6.2	1	5.9	20	6.8	115	6.7	8	4.3	48	8.5	1	5.3	253	6.7
自営/家業	46	4.7	0	0.0	6	2.1	128	7.4	27	14.6	21	3.7	1	5.3	229	6.1
学生(留学を含む)	9	0.9	0	0.0	2	0.7	20	1.2	1	0.5	3	0.5	0	0.0	35	0.9
専業主婦(夫)	113	11.6	1	5.9	43	14.7	73	4.2	5	2.7	33	5.9	1	5.3	269	7.1
無職・失業中/休職中	195	20.1	5	29.4	53	18.2	272	15.8	34	18.4	123	21.9	3	15.8	685	18.2
その他	53	5.5	0	0.0	17	5.8	45	2.6	4	2.2	21	3.7	1	5.3	141	3.7
計	970	100.0	17	100.0	292	100.0	1,723	100.0	185	100.0	562	100.0	19	100.0	3,768	100.0

表3-2-2 本人の職業と学種(無延滞者)

(単位:人・%)

職業	高等学校		高等専門学校		短期大学		大学		大学院		専修学校 (専門課程)		専修学校 (高等課程)		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員	39	65.0	8	61.5	103	57.5	928	64.9	309	66.2	205	63.9	0	-	1,592	64.5
任期付常勤社(職)員	6	10.0	3	23.1	9	5.0	90	6.3	37	7.9	21	6.5	0	-	166	6.7
非常勤社(職)員	3	5.0	0	0.0	20	11.2	102	7.1	46	9.9	36	11.2	0	-	207	8.4
派遣社員	2	3.3	0	0.0	5	2.8	35	2.4	3	0.6	7	2.2	0	-	52	2.1
自営/家業	2	3.3	0	0.0	3	1.7	39	2.7	18	3.9	8	2.5	0	-	70	2.8
学生(留学を含む)	0	0.0	2	15.4	2	1.1	74	5.2	14	3.0	8	2.5	0	-	100	4.0
専業主婦(夫)	4	6.7	0	0.0	22	12.3	74	5.2	12	2.6	15	4.7	0	-	127	5.1
無職・失業中/休職中	3	5.0	0	0.0	11	6.1	78	5.5	26	5.6	18	5.6	0	-	136	5.5
その他	1	1.7	0	0.0	4	2.2	10	0.7	2	0.4	3	0.9	0	-	20	0.8
計	60	100.0	13	100.0	179	100.0	1,430	100.0	467	100.0	321	100.0	0	-	2,470	100.0

4. 本人の年収について

(1) 本人の年収(回答者数:延滞者3,706人、無延滞者2,443人)(択一)

- 延滞者の場合、「100万～200万円未満」25.6%が最も多く、次いで「200万～300万円未満」20.0%、「1円～100万円未満」19.4%で、年収300万円未満で83.0%となっている。
- 無延滞者の場合、「200万～300万円未満」26.5%が最も多く、次いで「400万円以上」21.7%、「300万～400万円未満」18.4%となっている。

表4-1-1 本人の年収

(単位:人・%)

区分	24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	668	18.0	201	8.2	743	18.5	129	11.7
1円～100万円未満	720	19.4	227	9.3	841	20.9	151	13.7
100万～200万円未満	949	25.6	390	16.0	954	23.7	189	17.2
200万～300万円未満	741	20.0	647	26.5	817	20.3	262	23.8
300万～400万円未満	376	10.1	449	18.4	414	10.3	185	16.8
400万円以上	252	6.8	529	21.7	255	6.3	184	16.7
計	3,706	100.0	2,443	100.0	4,024	100.0	1,100	100.0
無回答	167		34					

表4-1-2 本人の年収(男女別)

(単位:人・%)

区分	延滞者						無延滞者					
	男		女		計		男		女		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	214	10.5	453	27.2	667	18.0	52	4.4	149	11.9	201	8.2
1円～100万円未満	304	14.9	416	25.0	720	19.4	65	5.5	162	12.9	227	9.3
100万～200万円未満	496	24.3	453	27.2	949	25.6	119	10.0	271	21.6	390	16.0
200万～300万円未満	515	25.3	226	13.6	741	20.0	290	24.5	357	28.4	647	26.5
300万～400万円未満	298	14.6	78	4.7	376	10.2	252	21.2	196	15.6	448	18.4
400万円以上	211	10.4	40	2.4	251	6.8	408	34.4	120	9.6	528	21.6
計	2,038	100.0	1,666	100.0	3,704	100.0	1,186	100.0	1,255	100.0	2,441	100.0

表4-1-3 本人の年収と職業(延滞者)

(単位:人・%)

職業	0円		1~100万円未満		100万~200万円未満		200万~300万円未満		300万~400万円未満		400万円以上		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員	3	0.5	31	4.4	277	29.7	466	63.3	314	83.7	220	88.0	1,311	35.8
任期付常勤社(職)員	1	0.2	17	2.4	123	13.2	70	9.5	19	5.1	11	4.4	241	6.6
非常勤社(職)員	7	1.1	243	34.2	241	25.8	64	8.7	6	1.6	2	0.8	563	15.4
派遣社員	1	0.2	56	7.9	134	14.3	49	6.7	10	2.7	0	0.0	250	6.8
自営/家業	11	1.7	73	10.3	62	6.6	51	6.9	16	4.3	13	5.2	226	6.2
学生(留学を含む)	12	1.8	18	2.5	3	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	33	0.9
専業主婦(夫)	226	34.2	31	4.4	2	0.2	4	0.5	1	0.3	0	0.0	264	7.2
無職・失業中/休職中	376	57.0	188	26.4	67	7.2	20	2.7	8	2.1	4	1.6	663	18.1
その他	23	3.5	54	7.6	25	2.7	12	1.6	1	0.3	0	0.0	115	3.1
計	660	100.0	711	100.0	934	100.0	736	100.0	375	100.0	250	100.0	3,666	100.0

表4-1-4 本人の年収と職業(無延滞者)

(単位:人・%)

職業	0円		1~100万円未満		100万~200万円未満		200万~300万円未満		300万~400万円未満		400万円以上		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員	1	0.5	14	6.2	157	40.4	511	79.0	404	90.0	486	91.9	1,573	64.4
任期付常勤社(職)員	0	0.0	7	3.1	62	15.9	53	8.2	23	5.1	21	4.0	166	6.8
非常勤社(職)員	1	0.5	71	31.3	92	23.7	36	5.6	5	1.1	2	0.4	207	8.5
派遣社員	0	0.0	13	5.7	21	5.4	17	2.6	1	0.2	0	0.0	52	2.1
自営/家業	0	0.0	18	7.9	17	4.4	13	2.0	8	1.8	13	2.5	69	2.8
学生(留学を含む)	34	16.9	51	22.5	8	2.1	2	0.3	0	0.0	1	0.2	96	3.9
専業主婦(夫)	106	52.7	13	5.7	4	1.0	2	0.3	0	0.0	0	0.0	125	5.1
無職・失業中/休職中	59	29.4	34	15.0	20	5.1	9	1.4	7	1.6	5	0.9	134	5.5
その他	0	0.0	6	2.6	8	2.1	4	0.6	1	0.2	1	0.2	20	0.8
計	201	100.0	227	100.0	389	100.0	647	100.0	449	100.0	529	100.0	2,442	100.0

表4-1-5 本人の年収と年齢との関係(延滞者)

(単位:人・%)

年収	~24		25~29		30~34		35~39		40~44		45~49		50~		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	51	18.8	222	18.5	159	17.2	114	20.1	74	17.5	39	19.1	8	7.3	667	18.0
1円~100万円未満	83	30.6	241	20.0	163	17.6	83	14.6	82	19.3	46	22.5	22	20.2	720	19.4
100万~200万円未満	89	32.8	351	29.2	230	24.9	139	24.5	87	20.5	27	13.2	26	23.9	949	25.6
200万~300万円未満	42	15.5	250	20.8	208	22.5	106	18.7	81	19.1	33	16.2	21	19.3	741	20.0
300万~400万円未満	5	1.8	105	8.7	119	12.9	69	12.1	49	11.6	19	9.3	10	9.2	376	10.2
400万円以上	1	0.4	34	2.8	46	5.0	57	10.0	51	12.0	40	19.6	22	20.2	251	6.8
計	271	100.0	1,203	100.0	925	100.0	568	100.0	424	100.0	204	100.0	109	100.0	3,704	100.0

表4-1-6 本人の年収と年齢(無延滞者)

(単位:人・%)

年収	~24		25~29		30~34		35~39		40~44		45~49		50~		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	45	8.0	68	6.8	49	8.9	31	12.7	4	8.2	4	20.0	0	0.0	201	8.2
1円~100万円未満	73	13.0	81	8.1	51	9.2	14	5.7	4	8.2	1	5.0	3	17.6	227	9.3
100万~200万円未満	160	28.5	155	15.6	52	9.4	16	6.6	3	6.1	1	5.0	3	17.6	390	16.0
200万~300万円未満	212	37.8	306	30.7	94	17.0	23	9.4	11	22.4	0	0.0	0	0.0	646	26.5
300万~400万円未満	58	10.3	233	23.4	112	20.3	34	13.9	5	10.2	5	25.0	1	5.9	448	18.4
400万円以上	13	2.3	153	15.4	195	35.3	126	51.6	22	44.9	9	45.0	10	58.8	528	21.6
計	561	100.0	996	100.0	553	100.0	244	100.0	49	100.0	20	100.0	17	100.0	2,440	100.0

(2) 本人の年収と学種との関係

○ 延滞者の場合、高等学校、短期大学で、年収100万円未満の者が50%を超えている。

○ 無延滞者であっても、年収100万円未満の者が各学種で10～20%程度存在している。

表4-2 本人の年収と学種

(単位:人・%)

区分	延滞者						無延滞者						
	男		女		計		男		女		計		
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
高等学校	0円	44	11.1	185	32.8	229	23.9	0	0.0	3	8.8	3	5.0
	1円～100万円未満	88	22.2	170	30.1	258	26.9	1	3.8	6	17.6	7	11.7
	100万～200万円未満	120	30.3	142	25.2	262	27.3	5	19.2	10	29.4	15	25.0
	200万～300万円未満	91	23.0	51	9.0	142	14.8	8	30.8	10	29.4	18	30.0
	300万～400万円未満	42	10.6	13	2.3	55	5.7	7	26.9	4	11.8	11	18.3
	400万円以上	11	2.8	3	0.5	14	1.5	5	19.2	1	2.9	6	10.0
	計	396	100.0	564	100.0	960	100.0	26	100.0	34	100.0	60	100.0
高等専門学校	0円	1	7.7	2	50.0	3	17.6	3	25.0	0	0.0	3	23.1
	1円～100万円未満	1	7.7	1	25.0	2	11.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	100万～200万円未満	2	15.4	1	25.0	3	17.6	3	25.0	0	0.0	3	23.1
	200万～300万円未満	3	23.1	0	0.0	3	17.6	3	25.0	1	100.0	4	30.8
	300万～400万円未満	2	15.4	0	0.0	2	11.8	1	8.3	0	0.0	1	7.7
	400万円以上	4	30.8	0	0.0	4	23.5	2	16.7	0	0.0	2	15.4
	計	13	100.0	4	100.0	17	100.0	12	100.0	1	100.0	13	100.0
短期大学	0円	4	11.8	68	26.3	72	24.6	0	0.0	18	11.0	18	10.3
	1円～100万円未満	9	26.5	71	27.4	80	27.3	1	9.1	15	9.2	16	9.2
	100万～200万円未満	10	29.4	71	27.4	81	27.6	4	36.4	52	31.9	56	32.2
	200万～300万円未満	8	23.5	34	13.1	42	14.3	3	27.3	56	34.4	59	33.9
	300万～400万円未満	2	5.9	10	3.9	12	4.1	2	18.2	17	10.4	19	10.9
	400万円以上	1	2.9	5	1.9	6	2.0	1	9.1	5	3.1	6	3.4
	計	34	100.0	259	100.0	293	100.0	11	100.0	163	100.0	174	100.0
大学	0円	108	9.2	122	23.8	230	13.7	31	4.4	95	13.5	126	8.9
	1円～100万円未満	154	13.2	97	18.9	251	14.9	49	6.9	96	13.6	145	10.3
	100万～200万円未満	253	21.7	141	27.5	394	23.4	73	10.3	123	17.4	196	13.9
	200万～300万円未満	303	25.9	92	17.9	395	23.5	194	27.4	206	29.2	400	28.3
	300万～400万円未満	202	17.3	39	7.6	241	14.3	154	21.8	119	16.9	273	19.3
	400万円以上	148	12.7	22	4.3	170	10.1	206	29.1	66	9.4	272	19.3
	計	1,168	100.0	513	100.0	1,681	100.0	707	100.0	705	100.0	1,412	100.0
大学院	0円	17	11.9	12	30.0	29	15.8	9	2.8	15	10.5	24	5.2
	1円～100万円未満	16	11.2	5	12.5	21	11.5	10	3.1	25	17.5	35	7.6
	100万～200万円未満	21	14.7	12	30.0	33	18.0	14	4.4	20	14.0	34	7.4
	200万～300万円未満	30	21.0	3	7.5	33	18.0	42	13.2	24	16.8	66	14.3
	300万～400万円未満	19	13.3	2	5.0	21	11.5	62	19.5	27	18.9	89	19.3
	400万円以上	40	28.0	6	15.0	46	25.1	181	56.9	32	22.4	213	46.2
	計	143	100.0	40	100.0	183	100.0	318	100.0	143	100.0	461	100.0
専修学校 (専門課程)	0円	38	13.7	62	22.8	100	18.2	9	8.0	18	8.6	27	8.4
	1円～100万円未満	35	12.6	66	24.3	101	18.4	4	3.6	20	9.6	24	7.5
	100万～200万円未満	89	32.0	83	30.5	172	31.3	20	17.9	66	31.6	86	26.8
	200万～300万円未満	78	28.1	43	15.8	121	22.0	40	35.7	60	28.7	100	31.2
	300万～400万円未満	31	11.2	14	5.1	45	8.2	26	23.2	29	13.9	55	17.1
	400万円以上	7	2.5	4	1.5	11	2.0	13	11.6	16	7.7	29	9.0
	計	278	100.0	272	100.0	550	100.0	112	100.0	209	100.0	321	100.0
計	0円	212	10.4	451	27.3	663	18.0	52	4.4	149	11.9	201	8.2
	1円～100万円未満	303	14.9	410	24.8	713	19.4	65	5.5	162	12.9	227	9.3
	100万～200万円未満	495	24.4	450	27.2	945	25.7	119	10.0	271	21.6	390	16.0
	200万～300万円未満	513	25.2	223	13.5	736	20.0	290	24.5	357	28.4	647	26.5
	300万～400万円未満	298	14.7	78	4.7	376	10.2	252	21.2	196	15.6	448	18.4
	400万円以上	211	10.4	40	2.4	251	6.8	408	34.4	120	9.6	528	21.6
	計	2,032	100.0	1,652	100.0	3,684	100.0	1,186	100.0	1,255	100.0	2,441	100.0

5. 延滞の理由と今後の返還の見通しについて(延滞者のみに質問)

(1) 延滞が始まった理由(きっかけ)(回答者数:3,823人)(複数選択(2つまで))

- 「家計の収入が減った」77.0%が最も多く、次いで「家計の支出が増えた」39.3%であった。
「入院、事故、災害等」も家計の収入減や支出増に関係するものと思われ、20.0%であった。

表5-1-1 延滞が始まった理由(きっかけ) (単位:人・%)

区分	延滞者			
	24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合
忙しかった(金融機関に行くことができなかったなど)	366	9.6	406	9.9
返還を忘れていた、口座残高をまちがえていたなどのミス	370	9.7	341	8.3
家計の収入が減った	2,945	77.0	3,095	75.3
家計の支出が増えた	1,503	39.3	1,595	38.8
入院、事故、災害等にあったため	765	20.0	729	17.7
返還するものだとは思っていなかった	138	3.6	85	2.1
その他	264	6.9	499	12.1
回答者数	3,823	-	4,111	-
無回答	50			

(注)1.延滞が始まった理由は2つまで回答のため、合計は100%にならない。

2.回答者数に対する割合である。

表5-1-2 延滞が始まった理由(きっかけ)(男女別) (単位:人・%)

区分	延滞者					
	男		女		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
忙しかった(金融機関に行くことができなかったなど)	201	9.5	165	9.7	366	9.6
返還を忘れていた、口座残高を間違えていたなどのミス	199	9.4	171	10.0	370	9.7
家計の収入が減った	1,620	76.6	1,323	77.6	2,943	77.0
家計の支出が増えた	876	41.4	625	36.7	1,501	39.3
入院、事故、災害等にあったため	404	19.1	361	21.2	765	20.0
返還するものだとは思っていなかった	60	2.8	78	4.6	138	3.6
その他	138	6.5	126	7.4	264	6.9
回答者数	2,116	-	1,705	-	3,821	-

(注)1.延滞が始まった理由は2つまで回答のため、合計は100%にならない。

2.回答者数に対する割合である。

(2) 延滞が継続している理由(複数選択(2つまで))(回答者数:3,786人)

- 「本人の低所得」が最も多く47.5%、次いで「親の経済困難」34.8%、「奨学金の延滞金額の増加」32.2%となっている。
- 男女間で差が大きいのは「配偶者の経済困難」「本人の借入金の返済」「本人の病気療養中」などである。

表5-2-1 延滞が継続している理由 (単位:人・%)

区分	延滞者			
	24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合
本人が病気療養中	249	6.6	249	6.2
本人が学生(留学を含む)	39	1.0	45	1.1
本人が失業中(無職)	699	18.5	769	19.1
本人の低所得	1,797	47.5	1,982	49.3
本人の借入金の返済	818	21.6	788	19.6
奨学金の延滞金額の増加	1,218	32.2	1,149	28.6
親の経済困難	1,317	34.8	1,425	35.5
配偶者の経済困難	218	5.8	198	4.9
家族の病気療養	277	7.3	316	7.9
忙しくて忘れていた	156	4.1	155	3.9
返還するものだとは思っていない	12	0.3	9	0.2
その他	69	1.8	153	3.8
回答者数	3,786	-	4,017	-
無回答	87			

(注)1.延滞が継続している理由は2つまで回答のため、合計は100%にならない。

2.回答者数に対する割合である。

表5-2-2 延滞が継続している理由(男女別)

(単位:人・%)

区分	延滞者					
	男		女		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人が病気療養中	112	5.3	137	8.1	249	6.6
本人が学生(留学を含む)	21	1.0	18	1.1	39	1.0
本人が失業中(無職)	319	15.2	379	22.5	698	18.4
本人の低所得	1,033	49.3	764	45.3	1,797	47.5
本人の借入金の返済	561	26.8	256	15.2	817	21.6
奨学金の延滞金額の増加	668	31.9	548	32.5	1,216	32.1
親の経済困難	739	35.3	578	34.2	1,317	34.8
配偶者の経済困難	55	2.6	163	9.7	218	5.8
家族の病気療養	165	7.9	112	6.6	277	7.3
忙しくて忘れていた	81	3.9	75	4.4	156	4.1
返還するものだとは思っていない	6	0.3	6	0.4	12	0.3
その他	41	2.0	28	1.7	69	1.8
回答者数	2,096	-	1,688	-	3,784	-

(注)1.延滞が継続している理由は2つまで回答のため、合計は100%にならない。

2.回答者数に対する割合である。

表5-2-3 延滞が継続している理由を「本人の低所得」と回答した者の年収(回答者数:1,772人)

(単位:人・%)

区分	延滞継続理由「本人の低所得」と回答した者の年収		延滞者の年収(再掲)	
	人数	割合	人数	割合
0円	67	3.8	668	18.0
1円~100万円未満	456	25.7	720	19.4
100万~200万円未満	681	38.4	949	25.6
200万~300万円未満	402	22.7	741	20.0
300万~400万円未満	119	6.7	376	10.1
400万円以上	47	2.7	252	6.8
計	1,772	100.0	3,706	100.0
無回答	25	-	-	-

(3) 延滞が始まった理由(きっかけ)と継続している理由との関係

- 延滞が始まった理由により多少バラつきがあるが、「本人の低所得」、「親の経済困難」、「奨学金の延滞金額の増加」、を延滞継続の理由とする割合が高くなっている。
- 延滞が始まった理由を「収入が減った」、「支出が増えた」と回答した者は、「本人の低所得」を延滞継続の理由とする割合が高くなっている。延滞が始まった理由を「忙しかった」「返還を忘れていた」と回答した者は、「奨学金の延滞金額の増加」を延滞継続の理由とする割合が高くなっている。

表5-3 延滞が継続している理由と始まった理由(きっかけ)

(単位:人・%)

継続の理由	始まった理由		返還を忘れていた		収入が減った		支出が増えた		入院事故、災害等		返還するものだとは思っていない		その他		回答者数	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人が病気療養中	11	3.0	13	3.5	163	5.5	56	3.7	161	21.0	8	5.8	22	8.3	249	6.6
本人が学生	12	3.3	14	3.8	151	5.1	51	3.4	149	19.5	6	4.3	20	7.6	249	6.6
本人が失業中(無職)	47	12.8	52	14.1	589	20.0	209	13.9	152	19.9	14	10.1	50	18.9	699	18.6
本人の低所得	139	38.0	162	43.8	1,544	52.4	720	47.9	279	36.5	56	40.6	95	36.0	1,797	47.7
本人の借入金の返済	85	23.2	74	20.0	600	20.4	490	32.6	118	15.4	26	18.8	39	14.8	818	21.7
奨学金の延滞金額の増加	151	41.3	176	47.6	894	30.4	482	32.1	217	28.4	73	52.9	69	26.1	1,218	32.3
親の経済困難	66	18.0	68	18.4	1,086	36.9	553	36.8	304	39.7	40	29.0	107	40.5	1,317	35.0
配偶者の経済困難	11	3.0	14	3.8	179	6.1	99	6.6	39	5.1	9	6.5	19	7.2	218	5.8
家族の病気療養	8	2.2	11	3.0	195	6.6	120	8.0	141	18.4	8	5.8	16	6.1	277	7.4
忙しくて忘れていた	102	27.9	49	13.2	64	2.2	32	2.1	15	2.0	9	6.5	6	2.3	156	4.1
返還するものだとは思っていない	1	0.3	1	0.3	4	0.1	3	0.2	3	0.4	6	4.3	1	0.4	12	0.3
その他	9	2.5	9	2.4	31	1.1	14	0.9	6	-	1	0.7	34	12.9	69	1.8
回答者数	366	-	370	-	2,945	-	1,503	-	765	-	138	-	264	-	3,768	-

(注)1.延滞が継続している理由は2つまで回答のため、合計は100%にならない。

2.回答者数に対する割合である。

(4) 延滞が継続している理由と主な返還者との関係

- 主な返還者が奨学生本人の場合は、「本人の低所得」を理由としている者が最も多い。
 主な返還者が父母の場合は「親の経済困難」を、配偶者の場合は「本人が失業中(無職)」をあげる者が最も多い。
- 「親の経済困難」を継続している理由に選んだ者のうち、59.0%は父母が主な返還者であった。

表5-4 延滞が継続している理由と主な返還者

(単位:人・%)

継続の理由	奨学生本人		父母		兄弟		祖父母		おじ・おば		配偶者		その他		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人が病気療養中	137	5.7	83	7.1	0	0.0	3	42.9	0	-	10	11.8	8	22.9	241	6.5
本人が学生	19	0.8	15	1.3	0	0.0	0	0.0	0	-	0	0.0	1	2.9	35	0.9
本人が失業中(無職)	369	15.3	254	21.6	2	22.2	2	28.6	0	-	38	44.7	9	25.7	674	18.1
本人の低所得	1,304	54.2	436	37.1	2	22.2	0	0.0	0	-	15	17.6	15	42.9	1,772	47.6
本人の借入金の返済	689	28.6	111	9.4	2	22.2	0	0.0	0	-	10	11.8	2	5.7	814	21.9
奨学金の延滞金額の増加	891	37.0	281	23.9	2	22.2	1	14.3	0	-	26	30.6	9	25.7	1,210	32.5
親の経済困難	497	20.6	761	64.8	5	55.6	3	42.9	0	-	9	10.6	14	40.0	1,289	34.7
配偶者の経済困難	135	5.6	41	3.5	0	0.0	0	0.0	0	-	34	40.0	2	5.7	212	5.7
家族の病気療養	143	5.9	116	9.9	3	33.3	1	14.3	0	-	5	5.9	2	5.7	270	7.3
忙しくて忘れていた	137	5.7	15	1.3	0	0.0	0	0.0	0	-	4	4.7	0	0.0	156	4.2
返還するものだとは思っていない	7	0.3	3	0.3	0	0.0	0	0.0	0	-	2	2.4	0	0.0	12	0.3
その他	25	1.0	36	3.1	0	0.0	0	0.0	0	-	3	3.5	3	8.6	67	1.8
回答者数	2,408	-	1,175	-	9	-	7	-	0	-	85	-	35	-	3,719	-

(注) 1.延滞が継続している理由は2つまで回答のため、合計は100%にならない。

2.回答者数に対する割合である。

(5) 延滞が継続している理由と年収との関係

- 「0円」と回答した者の延滞が継続している理由は「本人が失業中(無職)」が最も多くなっている。
 「1円~100万円未満」、「100万~200万円未満」及び「200万~300万円未満」の者の理由は「本人の低所得」が最も多いのに対して、
 「300万~400万円未満」の者は「奨学金の延滞金額の増加」、「400万円以上」の者は「本人の借入金の返済」が最も多くなっている。

表5-5 延滞が継続している理由と年収

(単位:人・%)

継続の理由	0円		1~100万円未満		100万~200万円未満		200万~300万円未満		300万~400万円未満		400万円以上		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人が病気療養中	102	15.4	63	8.9	45	4.8	16	2.2	12	3.3	7	2.8	245	6.7
本人が学生	13	2.0	16	2.3	5	0.5	1	0.1	0	0.0	2	0.8	37	1.0
本人が失業中(無職)	437	65.9	158	22.3	56	5.9	24	3.3	6	1.6	2	0.8	683	18.6
本人の低所得	67	10.1	456	64.2	681	72.1	402	55.1	119	32.3	47	18.9	1,772	48.4
本人の借入金の返済	32	4.8	73	10.3	198	21.0	234	32.1	141	38.3	123	49.4	801	21.9
奨学金の延滞金額の増加	140	21.1	184	25.9	281	29.8	296	40.6	165	44.8	121	48.6	1,187	32.4
親の経済困難	259	39.1	244	34.4	344	36.4	225	30.9	107	29.1	63	25.3	1,242	33.9
配偶者の経済困難	84	12.7	53	7.5	28	3.0	19	2.6	18	4.9	12	4.8	214	5.8
家族の病気療養	35	5.3	48	6.8	70	7.4	53	7.3	28	7.6	23	9.2	257	7.0
忙しくて忘れていた	7	1.1	14	2.0	27	2.9	51	7.0	28	7.6	24	9.6	151	4.1
返還するものだとは思っていない	2	0.3	0	0.0	3	0.3	3	0.4	3	0.8	0	0.0	11	0.3
その他	13	2.0	10	1.4	14	1.5	5	0.7	11	3.0	6	2.4	59	1.6
回答者数	663	-	710	-	944	-	729	-	368	-	249	-	3,663	-

(注) 1.延滞が継続している理由は2つまで回答のため、合計は100%にならない。

2.回答者数に対する割合である。

(6) 延滞が継続している理由と職業との関係

- 本人の職業が「常勤社(職)員」、「任期付常勤社(職)員」、「非常勤社(職)員」、「派遣社員」及び「自営業/家業」「その他」の場合、延滞が継続している理由は「本人の低所得」が最も多くなっている。
- 本人の職業が「専業主婦(夫)」、「無職・失業中/休職中」の場合、延滞が継続している理由は「本人が失業中(無職)」が最も多くなっている。

表5-6 延滞が継続している理由と職業

(単位:人・%)

職業	常勤社(職)員		任期付常勤社(職)員		非常勤社(職)員		派遣社員		自営/家業		学生(留学を含む)		専業主婦(夫)		無職・失業中/休職中		その他		計		
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
継続の理由																					
本人が病気療養中	31	2.4	8	3.3	27	4.8	11	4.4	10	4.4	0	0.0	15	5.7	138	20.2	5	3.6	245	6.6	
本人が学生	4	0.3	1	0.4	3	0.5	2	0.8	0	0.0	26	74.3	0	0.0	2	0.3	1	0.7	39	1.0	
本人が失業中(無職)	15	1.1	4	1.6	22	3.9	14	5.6	7	3.1	2	5.7	138	52.1	487	71.4	6	4.3	695	18.7	
本人の低所得	575	43.7	157	63.8	453	80.5	179	71.3	160	70.8	9	25.7	41	15.5	134	19.6	68	49.3	1,776	47.7	
本人の借入金の返済	465	35.3	63	25.6	105	18.7	44	17.5	58	25.7	0	0.0	20	7.5	43	6.3	11	8.0	809	21.7	
延滞金の増加	531	40.3	111	45.1	169	30.0	68	27.1	68	30.1	4	11.4	70	26.4	130	19.1	49	35.5	1,200	32.2	
親の経済困難	444	33.7	74	30.1	180	32.0	102	40.6	73	32.3	13	37.1	89	33.6	241	35.3	65	47.1	1,281	34.4	
配偶者の経済困難	47	3.6	9	3.7	32	5.7	6	2.4	13	5.8	0	0.0	69	26.0	29	4.3	8	5.8	213	5.7	
家族の病気療養	111	8.4	18	7.3	40	7.1	21	8.4	15	6.6	4	11.4	14	5.3	31	4.5	12	8.7	266	7.1	
忙しくて忘れていた	89	6.8	17	6.9	11	2.0	12	4.8	8	3.5	1	2.9	8	3.0	5	0.7	4	2.9	155	4.2	
返還するものだとは思っていない	7	0.5	0	0.0	1	0.2	1	0.4	0	0.0	0	0.0	1	0.4	1	0.1	0	0.0	11	0.3	
その他	25	1.9	1	0.4	8	1.4	1	0.4	3	1.3	1	2.9	4	1.5	5	0.7	19	13.8	67	1.8	
回答者数	1,316	-	246	-	563	-	251	-	226	-	35	-	265	-	682	-	138	-	3,722	-	

(注) 1.延滞が継続している理由は2つまで回答のため、合計は100%にならない。

2.回答者数に対する割合である。

(7) 今後の返還の見通し（回答者数：3,731人）（択一）

- 現在における返還の見通しについては、「決められた月額等を返還できると思う」が31.2%、「決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う」と回答した者が24.0%となっている。年収別の回答の割合でみると、年収が多くなるにつれて、「決められた月額等を返還できると思う」と回答する者が多くなっている。
- 2～3年から数年以上経過した時点における返還の見通しについては、「決められた月額等を返還できると思う」が42.6%、「わからない」と回答した者が22.0%となっている。年収別の回答の割合でみると、年収が多くなるにつれて、「決められた月額等を返還できると思う」と回答する者が多くなっている。

表5-7-1 現在における返還の見通し (単位:人・%)

区分	延滞者			
	24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合
決められた月額等を返還できると思う	1,163	31.2	1,228	30.3
決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う	306	8.2	2,035	50.2
決められた月額等の半額程度返還できると思う	693	18.6		
決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う	896	24.0		
返還できないと思う	290	7.8	412	10.2
わからない	383	10.3	379	9.3
計	3,731	100.0	4,054	100.0
無回答	142			

※平成23年度の区分は「決められた月額等より少ないが、返還できると思う」

表5-7-2 2～3年から数年以上経過した時点における返還の見通し (単位:人・%)

区分	延滞者			
	24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合
決められた月額等を返還できると思う	1,549	42.6	1,714	43.4
決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う	379	10.4	1,328	33.6
決められた月額等の半額程度返還できると思う	396	10.9		
決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う	449	12.3		
返還できないと思う	68	1.9	78	2.0
わからない	799	22.0	830	21.0
計	3,640	100.0	3,950	100.0
無回答	233			

※平成23年度の区分は「決められた月額等より少ないが、返還できると思う」

表5-7-3 現在の返還の見通しと年収 (単位:人・%)

返還の見通し	0円		1～100万円未満		100万～200万円未満		200万～300万円未満		300万～400万円未満		400万円以上		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	決められた月額等を返還できると思う	139	21.9	156	22.2	272	29.3	273	37.6	159	43.3	131	52.4	1,130
決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う	36	5.7	36	5.1	79	8.5	79	10.9	39	10.6	23	9.2	292	8.1
決められた月額等の半額程度返還できると思う	87	13.7	136	19.3	194	20.9	140	19.3	81	22.1	36	14.4	674	18.7
決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う	169	26.6	201	28.6	247	26.6	153	21.0	56	15.3	39	15.6	865	24.0
返還できないと思う	95	14.9	77	11.0	59	6.4	29	4.0	13	3.5	9	3.6	282	7.8
わからない	110	17.3	97	13.8	77	8.3	53	7.3	19	5.2	12	4.8	368	10.2
計	636	100.0	703	100.0	928	100.0	727	100.0	367	100.0	250	100.0	3,611	100.0

表5-7-4 2～3年から数年以上経過した時点における返還の見通しと年収 (単位:人・%)

返還の見通し	0円		1～100万円未満		100万～200万円未満		200万～300万円未満		300万～400万円未満		400万円以上		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	決められた月額等を返還できると思う	210	33.5	252	36.8	364	40.2	346	48.6	189	52.6	153	61.9	1,514
決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う	51	8.1	66	9.6	95	10.5	82	11.5	47	13.1	27	10.9	368	10.4
決められた月額等の半額程度返還できると思う	59	9.4	94	13.7	106	11.7	82	11.5	31	8.6	17	6.9	389	11.0
決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う	107	17.1	91	13.3	107	11.8	73	10.3	30	8.4	22	8.9	430	12.2
返還できないと思う	21	3.4	13	1.9	18	2.0	9	1.3	2	0.6	2	0.8	65	1.8
わからない	178	28.4	168	24.6	215	23.8	120	16.9	60	16.7	26	10.5	767	21.7
計	626	100.0	684	100.0	905	100.0	712	100.0	359	100.0	247	100.0	3,533	100.0

表5-7-5 数年後の返還の見通しと現在の返還の見通しとの関係

(単位:人・%)

数年後	現在		所定の半額以上返還できる		所定の半額程度返還できる		所定の半額以下は返還できる		返還できない		わからない		計	
	所定の額返還できる		所定の半額以上返還できる		所定の半額程度返還できる		所定の半額以下は返還できる		返還できない		わからない		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
決められた月額等を返還できると思う	867	78.2	144	48.0	242	35.6	150	17.1	76	26.4	67	18.2	1,546	42.7
決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う	61	5.5	89	29.7	127	18.7	79	9.0	9	3.1	13	3.5	378	10.4
決められた月額等の半額程度返還できると思う	18	1.6	17	5.7	159	23.4	153	17.4	31	10.8	16	4.3	394	10.9
決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う	18	1.6	8	2.7	37	5.4	267	30.4	53	18.4	62	16.8	445	12.3
返還できないと思う	8	0.7	0	0.0	4	0.6	23	2.6	23	8.0	9	2.4	67	1.8
わからない	137	12.4	42	14.0	110	16.2	206	23.5	96	33.3	201	54.6	792	21.9
計	1,109	100.0	300	100.0	679	100.0	878	100.0	288	100.0	368	100.0	3,622	100.0

6. 返還期限の猶予制度について

(1) 猶予制度の認知状況(回答者数:延滞者数3,801人、無延滞者2,474人)(択一)

○ 猶予制度に関しては、請求書を送付する都度、案内資料を同封する他、振替不能通知にも記載している。

また、返還のてびきや返還説明会の説明事項にも含めている。

○ 猶予制度を「知らなかった」と回答した者は延滞者で57.1%、無延滞者53.0%であり、延滞状況による大きな差は見られなかった。

表6-1-1 猶予制度の認知状況

(単位:人・%)

区分	24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
猶予制度を「知っている」	1,632	42.9	1,164	47.0	1,772	43.3	490	43.9
猶予制度を「知らなかった」	2,169	57.1	1,310	53.0	2,316	56.7	626	56.1
計	3,801	100.0	2,474	100.0	4,088	100.0	1,116	100.0
無回答	72		3					

表6-1-2 猶予制度の認知状況(回答者 奨学生本人のみ)

区分	24年度			
	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
猶予制度を「知っている」	1,108	45.2	873	46.1
猶予制度を「知らなかった」	1,343	54.8	1,019	53.9
計	2,451	100.0	1,892	100.0
無回答	11		1	

(2) 猶予制度の認知状況と年齢との関係

○ 猶予制度を「知らなかった」と回答した割合を、延滞者と無延滞者で比較すると、25~29歳および35歳以上において、延滞者の方が高くなっている。

表6-2-1 猶予制度の認知状況と年齢(延滞者)

(単位:人・%)

年齢	認知状況		知っている		知らなかった		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
~24	135	49.5%	138	50.5%	273	100.0%		
25~29	516	42.0%	713	58.0%	1,229	100.0%		
30~34	425	44.9%	522	55.1%	947	100.0%		
35~39	243	41.6%	341	58.4%	584	100.0%		
40~44	166	37.6%	276	62.4%	442	100.0%		
45~49	101	47.2%	113	52.8%	214	100.0%		
50~	45	40.9%	65	59.1%	110	100.0%		
計	1,631	42.9%	2,168	57.1%	3,799	100.0%		

表6-2-2 猶予制度の認知状況と年齢(無延滞者)

(単位:人・%)

年齢	認知状況		知っている		知らなかった		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
～24	267	46.6%	306	53.4%	573	100.0%		
25～29	475	47.3%	530	52.7%	1,005	100.0%		
30～34	240	42.9%	320	57.1%	560	100.0%		
35～39	125	50.8%	121	49.2%	246	100.0%		
40～44	30	60.0%	20	40.0%	50	100.0%		
45～49	14	70.0%	6	30.0%	20	100.0%		
50～	12	70.6%	5	29.4%	17	100.0%		
計	1,163	47.1%	1,308	52.9%	2,471	100.0%		

(3) 猶予制度の認知状況と年収との関係

表6-3-1 猶予制度の認知状況と年収(延滞者)

(単位:人・%)

年齢	認知状況		知っている		知らなかった		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	277	42.1%	381	57.9%	658	100.0%		
1円～100万円未満	323	45.2%	392	54.8%	715	100.0%		
100万～200万円未満	422	44.7%	522	55.3%	944	100.0%		
200万～300万円未満	302	40.9%	437	59.1%	739	100.0%		
300万～400万円未満	158	42.2%	216	57.8%	374	100.0%		
400万円以上	110	44.4%	138	55.6%	248	100.0%		
計	1,592	43.3%	2,086	56.7%	3,678	100.0%		

表6-3-2 猶予制度の認知状況と年収(無延滞者)

(単位:人・%)

年齢	認知状況		知っている		知らなかった		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	118	58.7%	83	41.3%	201	100.0%		
1円～100万円未満	130	57.3%	97	42.7%	227	100.0%		
100万～200万円未満	182	46.7%	208	53.3%	390	100.0%		
200万～300万円未満	287	44.5%	358	55.5%	645	100.0%		
300万～400万円未満	206	45.9%	243	54.1%	449	100.0%		
400万円以上	231	43.7%	298	56.3%	529	100.0%		
計	1,154	47.3%	1,287	52.7%	2,441	100.0%		

(4) 猶予制度の申請状況(延滞者で猶予制度を「知っている」と回答した者に質問)(回答者数:1,516人)(択一)

- 延滞者で返還期限猶予制度を「知っている」と回答した者の猶予の申請状況は、「過去に申請したことがあるが、今は申請していない」46.6%が最も多かった。

表6-4 猶予制度の申請状況(延滞者)

(単位:人・%)

区分	24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合
現在、申請している	192	12.7	240	13.9
申請の準備または検討をしている (書類不備で返送されて再提出準備中を含む)	176	11.6	186	10.8
過去に申請したことがあるが、今は申請していない	706	46.6	739	42.8
一度も利用したことがない	396	26.1	445	25.8
その他	46	3.0	115	6.7
計	1,516	100.0	1,725	100.0
無回答	116			

(5) 猶予申請しない理由（延滞者で猶予制度を「知っている」と回答した者のうち、猶予制度の申請状況を「過去に申請したことがあるが、今は申請していない」と回答した者に質問）
（回答者数：679人）（択一）

○ 猶予申請しない理由は「すでに猶予期間(通算60ヶ月)を利用してしまったので、利用できないため」40.4%が最も多く、次いで、「返還期限猶予制度の基準に該当しないため」24.6%であった。

表6-5 猶予申請しない理由（延滞者）（単位：人・%）

区分	24年度	
	人数	割合
返還期限猶予制度の基準に該当しないため	167	24.6
すでに猶予期間(通算60ヶ月)を利用してしまったので、利用できないため	274	40.4
猶予申請しないで返還予定のため	76	11.2
猶予申請手続きが難しいため	68	10.0
手続きがよくわからない、よく知らないため	66	9.7
その他	28	4.1
計	679	100.0
無回答	27	

(6) 猶予申請しない理由（延滞者で猶予制度を「知っている」と回答した者のうち、猶予制度の申請状況を「一度も利用したことがない」と回答した者に質問）（回答者数：330人）（択一）

○ 猶予申請しない理由は「返還期限猶予制度の基準に該当しないため」26.4%が最も多く、次いで、「手続きがよくわからない、よく知らないため」25.8%であった。

表6-6 猶予申請しない理由（延滞者）（単位：人・%）

区分	24年度	
	人数	割合
返還期限猶予制度の基準に該当しないため	87	26.4
すでに猶予期間(通算60ヶ月)を利用してしまったので、利用できないため	9	2.7
猶予申請しないで返還予定のため	78	23.6
猶予申請手続きが難しいため	56	17.0
手続きがよくわからない、よく知らないため	85	25.8
その他	15	4.5
計	330	100.0
無回答	66	

(7) 猶予制度をどこから知ったか（猶予制度を「知っている」と回答した者に質問）（回答者数：延滞者1,503人、無延滞者1,107人）（複数選択）

○ 猶予制度をどこから知ったかは、延滞者は「機構(旧日本育英会)からの通知で」が42.5%で最も多く、無延滞者は「返還のてびきを読んで」が68.7%で最も多かった。

表6-7 猶予制度をどこから知ったか（単位：人・%）

区分	24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
奨学金申請時・採用時の資料で	288	19.2	564	50.9	-	-	-	-
「返還のてびき」を読んで	475	31.6	760	68.7	615	38.9	367	74.9
日本学生支援機構のホームページで	219	14.6	213	19.2	257	16.2	17	3.5
機構(旧日本育英会)からの通知で	639	42.5	196	17.7	721	45.5	32	6.5
相談センターに電話して	579	38.5	43	3.9	696	44.0	9	1.8
学校の説明会で	44	2.9	181	16.4	77	4.9	29	5.9
連帯保証人・保証人から	84	5.6	37	3.3	117	7.4	9	1.8
連帯保証人・保証人以外の家族・友人から	62	4.1	59	5.3	81	5.1	10	2.0
債権回収会社から	197	13.1	6	0.5	-	-	-	-
その他	24	1.6	24	2.2	18	1.1	3	0.6
回答者数	1,503	-	1,107	-	1,583	-	490	-

(注) 1. 延滞が始まった理由は複数選択のため、合計は100%にならない。
2. 回答者数に対する割合である。

(8) 猶予制度の猶予期間の長さ(通算60ヶ月)について(延滞者で猶予制度を「知っている」と回答した者に質問)(回答者数:1,573人)(択一)

○「どちらともいえない」が45.2%で最も多く、次いで「短い」26.2%が多かった。

○「短い」26.2%と「どちらかといえば短い」13.2%の合計39.4%は、「十分」6.6%と「どちらかといえば十分」8.8%の合計15.4%より多かった。

表6-8 猶予期間の長さについて (単位:人・%)

区分	24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合
短い	412	26.2	429	25.2
どちらかといえば短い	208	13.2	241	14.2
どちらともいえない	711	45.2	750	44.0
どちらかといえば十分	138	8.8	170	10.0
十分	104	6.6	113	6.6
計	1,573	100.0	1,703	100.0
無回答	59			

7. リレー口座(口座振替による返還)による返還状況

(1) リレー口座加入の有無(回答者数:延滞者3,710人、無延滞者2,430人)(択一)

表7-1 リレー口座加入の有無 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
加入している	718	19.4	2,043	84.1
加入していない	2,992	80.6	387	15.9
計	3,710	100.0	2,430	100.0
無回答	163		47	

(2) リレー口座の名義人(「リレー口座に加入している」と回答した者に質問)

(回答者数:延滞者704人、無延滞者2,030人)(択一)

表7-2 リレー口座の名義人 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	616	87.5	1,888	93.0
父母	81	11.5	120	5.9
兄弟	0	0.0	1	0.0
祖父母	0	0.0	0	0.0
おじ・おば	1	0.1	2	0.1
配偶者	3	0.4	15	0.7
その他	3	0.4	4	0.2
回答者数	704	100.0	2,030	100.0
無回答	14		13	

(3) 口座名義人の保証制度との関係(「口座名義人が奨学生本人以外」と回答した者に質問)(回答者数:延滞者85人、無延滞者129人)(択一)

表7-3 口座名義人(奨学生本人以外)の保証制度との関係 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
① 連帯保証人	42	49.4	64	49.6
② 保証人	20	23.5	27	20.9
③ 機関保証の「本人以外の連絡先」	3	3.5	3	2.3
④ ①～③の二つ以上にあてはまる	8	9.4	10	7.8
⑤ ①～④にあてはまらない	3	3.5	15	11.6
⑥ わからない	9	10.6	10	7.8
計	85	100.0	129	100.0
無回答	3		13	

(4) リレー口座に用いている口座のその他の用途について(「リレー口座に加入している」と回答した者に質問)(回答者数:延滞者690人、無延滞者2,009人)(複数選択(5つまで))

表7-4 リレー口座のその他の用途 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
給与・年金・仕送り等収入を振り込んでいる	299	43.3	1,196	59.5
公共料金やクレジットカードなど定期的な支払いを引き落とししている	225	32.6	955	47.5
預貯金用	144	20.9	512	25.5
奨学金返還専用(又は準専用)	324	47.0	613	30.5
その他	23	3.3	21	1.0
回答者数	690	-	2,009	-

(注)1.複数選択のため合計は100%にならない。
2.回答者数に対する割合である。

(5) リレー口座への入金状況(「リレー口座に加入している」と回答した者に質問)(回答者数:延滞者676人、無延滞者2,001人)(択一)

表7-5 リレー口座への入金状況 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
給与等の収入が振り込まれる	214	31.7	1,113	55.6
年に数回程度必要額を入金	95	14.1	291	14.5
毎回又はほぼ毎回必要額を入金	307	45.4	563	28.1
その他	60	8.9	34	1.7
回答者数	676	100.0	2,001	100.0
無回答	42		42	

8. 無延滞者のこれまでの返還状況(無延滞者のみに質問)

(1) 延滞経験の有無(回答者数:2,449人)(択一)

○ 無延滞者において、今まで「延滞したことがない」が74.3%、「延滞したことがある」が20.0%となっている。

表8-1 延滞経験の有無 (単位:人・%)

区分	24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合
延滞したことがない	1,819	74.3	836	76.5
延滞したことがある	491	20.0	200	18.3
わからない	139	5.7	57	5.2
計	2,449	100.0	1,093	100.0
無回答	28			

(2) 延滞になったことを知ったきっかけ(無延滞者で「延滞したことがある」と回答した者に質問)

(回答者数:470人)(複数選択)

○ 延滞になったことを知ったきっかけは、「機構からの振替不能(延滞)通知」が76.8%、「機構からの電話」が36.6%であった。

表8-2 延滞になったことを知ったきっかけ (単位:人・%)

区分	24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合
機構(旧日本育英会)からの振替不能(延滞)通知	361	76.8	144	72.0
機構(旧日本育英会)からの電話	172	36.6	50	25.0
連帯保証人・保証人からの連絡	29	6.2	14	7.0
口座残高を確認して	140	29.8	43	21.5
親・家族等からの連絡	44	9.4	16	8.0
債権回収会社(サービサー)からの連絡	42	8.9	20	10.0
その他	5	1.1	4	2.0
回答者数	470	-	200	-

(注)1.複数選択のため合計は100%にならない。

2.回答者数に対する割合である。

(3) 延滞の解消方法(無延滞者で「延滞したことがある」と回答した者に質問)(回答者数:473人)(複数選択)

○ どのように延滞を解消したかについては、「本人が延滞額を支払った」が78.6%であった。

表8-3 延滞の解消方法 (単位:人・%)

区分	24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合
本人が延滞額を支払った(口座振替を含む)	372	78.6	145	77.5
本人以外が支払った(口座振替を含む)	87	18.4	35	18.7
猶予願が承認された	39	8.2	26	13.9
その他	6	1.3	3	1.6
回答者数	473	-	187	-

(注)1.複数選択のため合計は100%にならない。

2.回答者数に対する割合である。

(4) 延滞をより早く解消できたと思われる返還方法(無延滞者で「延滞したことがある」と回答した者に質問)

(回答者数:391人)(複数選択(2つまで))

○ 延滞をより早く解消できたと思われる返還方法は、「リレー口座からの引き落とし(延滞額の一部でも)」が48.8%であった。

表8-4 延滞の早期解消方法 (単位:人・%)

区分	24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合
リレー口座からの引き落とし(延滞額の一部でも)	191	48.8	53	31.5
機構の口座への振込み	74	18.9	40	23.8
払込票(コンビニ支払)	188	48.1	107	63.7
インターネットバンキング(振込)	52	13.3	19	11.3
債権回収会社(サービサー)への支払い	2	0.5	2	1.2
その他	5	1.3	4	2.4
回答者数	391	-	168	-

(注)1.複数回答(2つまで)のため合計は100%にならない。

2.回答者数に対する割合である。

9. 日本学生支援機構の奨学金制度の認知状況

(1) 猶予制度の認知状況(回答者数:延滞者3,801人、無延滞者2,474人)(択一)

表9-1 猶予制度の認知状況(表5-1再掲) (単位:人・%)

区分	24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	1,632	42.9	1,164	47.0	1,772	43.3	490	43.9
知らなかった	2,169	57.1	1,310	53.0	2,316	56.7	626	56.1
計	3,801	100.0	2,474	100.0	4,088	100.0	1,116	100.0
無回答	72		3					

(2) 減額返還制度の認知状況(回答者数:延滞者3,766人、無延滞者2,461人)(択一)

○「知らない」と回答した者は、延滞者が54.8%、無延滞者が40.4%であった。23年度と比べると、特に無延滞者において、認知状況は向上している。

表9-2 減額返還制度の認知状況 (単位:人・%)

区分	24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
よく知っている	156	4.1	133	5.4	169	4.2	43	3.9
だいたい知っている	587	15.6	718	29.2	581	14.3	282	25.5
あまり知らない	958	25.4	615	25.0	1,023	25.2	303	27.3
知らない	2,065	54.8	995	40.4	2,283	56.3	480	43.3
計	3,766	100.0	2,461	100.0	4,056	100.0	1,108	100.0
無回答	107		16					

(3) 繰上返還制度の認知状況(回答者数:無延滞者のみ2,454人)(択一)

○無延滞者において、「だいたい知ってる」と回答した者が、51.4%であった。

表9-3 繰上返還制度の認知状況 (単位:人・%)

区分	24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
よく知っている	-	-	435	17.7	-	-	202	18.3
だいたい知っている	-	-	1,261	51.4	-	-	545	49.3
あまり知らない	-	-	432	17.6	-	-	200	18.1
知らない	-	-	326	13.3	-	-	159	14.4
計	-	-	2,454	100.0	-	-	1,106	100.0
無回答			23					

(4) 個人情報情報機関への登録の認知状況(回答者数:無延滞者のみ2,448人)(択一)

○無延滞者において、「知らない」と回答した者が、48.1%であった。

表9-4 個人情報情報機関への登録の認知状況 (単位:人・%)

区分	24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
よく知っている	-	-	205	8.4	-	-	77	7.0
だいたい知っている	-	-	462	18.9	-	-	171	15.5
あまり知らない	-	-	603	24.6	-	-	264	23.9
知らない	-	-	1,178	48.1	-	-	592	53.6
計	-	-	2,448	100.0	-	-	1,104	100.0
無回答			29					

10. 各種情報提供の利用等状況

(1) スカラネット・パーソナルの認知状況(回答者数:無延滞者のみ2,449人)(択一)

表10-1-1 スカラネット・パーソナルの認知状況 (単位:人・%)

区分	24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
よく知っている	-	-	115	4.7	-	-	-	-
だいたい知っている	-	-	311	12.7	-	-	-	-
あまり知らない	-	-	599	24.5	-	-	-	-
知らない	-	-	1,424	58.1	-	-	-	-
計	-	-	2,449	100.0	-	-	-	-
無回答			28					

表10-1-2 スカラネット・パーソナルの認知状況(回答者 奨学生本人のみ) (単位:人・%)

区分	24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
よく知っている	-	-	101	5.4	-	-	-	-
だいたい知っている	-	-	250	13.3	-	-	-	-
あまり知らない	-	-	455	24.2	-	-	-	-
知らない	-	-	1,077	57.2	-	-	-	-
計	-	-	1,883	100.0	-	-	-	-
無回答			10					

(2) 日本学生支援機構送付文書類の閲覧状況(回答者数:延滞者3,810人、無延滞者2,467人)(択一)

○「必ず見る」と回答した者が、延滞者42.1%、無延滞者48.1%であった。

表10-2-1 文書類の閲覧状況 (単位:人・%)

区分	24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
必ず見る	1,604	42.1	1,187	48.1	1,717	41.7	537	48.6
だいたい見る	1,480	38.8	898	36.4	1,605	39.0	395	35.7
あまり見ない	482	12.7	242	9.8	520	12.6	118	10.7
見ない	96	2.5	50	2.0	103	2.5	18	1.6
届いていない	120	3.1	78	3.2	121	2.9	35	3.2
その他	28	0.7	12	0.5	54	1.3	2	0.2
回答者数	3,810	100.0	2,467	100.0	4,120	100.0	1,105	100.0
無回答	63		10					

表10-2-2 文書類の閲覧状況(回答者 奨学生本人のみ) (単位:人・%)

区分	24年度			
	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
必ず見る	935	38.2	844	44.7
だいたい見る	981	40.1	719	38.1
あまり見ない	358	14.6	207	11.0
見ない	62	2.5	43	2.3
届いていない	93	3.8	68	3.6
その他	16	0.7	8	0.4
回答者数	2,445	100.0	1,889	100.0
無回答	17		4	

(3) 日本学生支援機構のホームページ閲覧状況(回答者数:延滞者3,784人、無延滞者2,466人)(択一)

○「見たことはない」と回答した者が、延滞者57.8%、無延滞者60.3%であった。

表10-3-1 ホームページの閲覧状況

(単位:人・%)

区分	24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
およそ1ヶ月に1回以上見る	19	0.5	10	0.4	20	0.5	4	0.4
年に数回見る	160	4.2	156	6.3	155	3.8	59	5.3
過去に見たことがある	631	16.7	733	29.7	622	15.2	303	27.3
見たことはない	2,189	57.8	1,486	60.3	2,382	58.0	683	61.6
見ることができない	763	20.2	76	3.1	882	21.5	56	5.0
その他	22	0.6	5	0.2	44	1.1	4	0.4
回答者数	3,784	100.0	2,466	100.0	4,105	100.0	1,109	100.0
無回答	89		11					

表10-3-2 ホームページの閲覧状況(回答者 奨学生本人のみ)

(単位:人・%)

区分	24年度			
	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
およそ1ヶ月に1回以上見る	10	0.4	8	0.4
年に数回見る	136	5.6	135	7.1
過去に見たことがある	552	22.6	612	32.4
見たことはない	1,455	59.6	1,099	58.2
見ることができない	283	11.6	33	1.7
その他	7	0.3	2	0.1
回答者数	2,443	100.0	1,889	100.0
無回答	19		4	

11. 日本学生支援機構の奨学金に対する意識

(1) 日本学生支援機構の奨学金に対する意識(択一)

○ 奨学金に対する意識について質問したところ、それぞれの問いで最も割合が高かった回答は次の通りであった。

表11-1 日本学生支援機構の奨学金に対する意識(延滞者)

(単位:人・%)

区分	情報提供度		返還負担度		返還義務度		回収強化度		督促のきびしさ度		給付制度必要度	
	日本学生支援機構からの情報提供は十分である		現在、奨学金の返還が負担になっている		借りたものなので必ず返さなければならない		回収は強化するべきである		延滞への対応がきびしい		給付型の奨学金が必要である	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とてもそう思う	239	6.5	1,483	39.9	2,294	61.1	84	2.3	522	14.1	1,127	30.9
そう思う	979	26.5	1,472	39.6	1,297	34.6	333	9.0	738	19.9	978	26.8
どちらともいえない	1,540	41.7	604	16.2	133	3.5	2,350	63.4	1,685	45.4	1,302	35.7
そう思わない	641	17.3	139	3.7	22	0.6	711	19.2	681	18.4	180	4.9
まったくそう思わない	297	8.0	19	0.5	6	0.2	231	6.2	85	2.3	64	1.8
計	3,696	100.0	3,717	100.0	3,752	100.0	3,709	100.0	3,711	100.0	3,651	100.0

表11-2 日本学生支援機構の奨学金に対する意識(無延滞者)

(単位:人・%)

区分	情報提供度		返還負担度		返還義務度		回収強化度		督促のきびしさ度		給付制度必要度	
	日本学生支援機構からの情報提供は十分である		現在、奨学金の返還が負担になっている		借りたものなので必ず返さなければならない		回収は強化するべきである		延滞への対応がきびしい		給付型の奨学金が必要である	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とてもそう思う	121	4.9	390	15.9	1,651	67.0	804	32.7	61	2.5	580	23.7
そう思う	862	35.0	623	25.3	731	29.7	802	32.6	99	4.1	686	28.0
どちらともいえない	1,004	40.8	597	24.3	60	2.4	746	30.3	1,174	48.2	882	36.0
そう思わない	386	15.7	642	26.1	14	0.6	77	3.1	703	28.9	232	9.5
まったくそう思わない	88	3.6	206	8.4	9	0.4	29	1.2	397	16.3	68	2.8
計	2,461	100.0	2,458	100.0	2,465	100.0	2,458	100.0	2,434	100.0	2,448	100.0

○ 表11-1および表11-2の回答のうち、「とてもそう思う」「そう思う」を足して「そう思う」の回答とし、「そう思わない」「まったくそう思わない」を足して「そう思わない」の回答としてまとめたところ、以下のようになった。

表11-3

	延滞者			無延滞者		
	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
情報提供度 日本学生支援機構からの情報提供は十分である	33.0%	41.7%	25.4%	39.9%	40.8%	19.3%
返還負担度 現在、奨学金の返還が負担になっている	79.5%	16.2%	4.3%	41.2%	24.3%	34.5%
返還義務度 借りたものなので必ず返さなければならない	95.7%	3.5%	0.7%	96.6%	2.4%	0.9%
回収強化度 延滞している人への回収は強化するべきである	11.2%	63.4%	25.4%	65.3%	30.3%	4.3%
督促のきびしさ度 延滞への対応がきびしい	34.0%	45.4%	20.6%	6.6%	48.2%	45.2%
給付制度必要度 給付型の奨学金が必要である	57.7%	35.7%	6.7%	51.7%	36.0%	12.3%

表11-4 年収別返還負担度(現在、奨学金の返還が負担になっている)(延滞者)

(単位:人・%)

年収 現在、奨学金の返還が 負担になっている	0円		1~100 万円未満		100万~200 万円未満		200万~300 万円未満		300万~400 万円未満		400 万円以上		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とてもそう思う	277	44.6	316	45.4	370	40.2	264	36.2	124	33.8	77	30.7	1,428	39.8
そう思う	231	37.2	266	38.2	362	39.3	303	41.6	157	42.8	100	39.8	1,419	39.6
どちらともいえない	97	15.6	97	13.9	145	15.7	122	16.7	68	18.5	58	23.1	587	16.4
そう思わない	14	2.3	13	1.9	41	4.5	33	4.5	18	4.9	15	6.0	134	3.7
まったくそう思わない	2	0.3	4	0.6	3	0.3	7	1.0	0	0.0	1	0.4	17	0.5
計	621	100.0	696	100.0	921	100.0	729	100.0	367	100.0	251	100.0	3,585	100.0

表11-5 年収別返還負担度(現在、奨学金の返還が負担になっている)(無延滞者)

(単位:人・%)

年収 現在、奨学金の返還が 負担になっている	0円		1~100 万円未満		100万~200 万円未満		200万~300 万円未満		300万~400 万円未満		400 万円以上		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とてもそう思う	60	30.3	53	23.8	77	19.8	86	13.4	61	13.6	50	9.5	387	15.9
そう思う	54	27.3	65	29.1	101	26.0	177	27.5	120	26.8	101	19.1	618	25.5
どちらともいえない	40	20.2	51	22.9	119	30.7	170	26.4	97	21.7	111	21.0	588	24.2
そう思わない	36	18.2	45	20.2	75	19.3	168	26.1	125	27.9	183	34.7	632	26.0
まったくそう思わない	8	4.0	9	4.0	16	4.1	42	6.5	45	10.0	83	15.7	203	8.4
計	198	100.0	223	100.0	388	100.0	643	100.0	448	100.0	528	100.0	2,428	100.0